

■「2011 センサー地学 I + II」の訂正のお知らせ

本書には、次のところに誤りがございます。深くお詫び申し上げますと共に、下記のように訂正の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

(株)新興出版社啓林館編集部

ページ	箇所	誤	正
<本文>			
p.61	問題 64(2)	(問題文を変更します。)	(2) 2つの移動経路はそれぞれ大きく蛇行しているが、東西にずらすとほぼ完全に重なる。このことから両大陸の移動についてわかることとして適当なものを次のア～エから1つ選べ。 ア オルドビス紀からジュラ紀にかけて離れていった。 イ ジュラ紀以降に離れていった。 ウ オルドビス紀からジュラ紀にかけて近づいた。 エ ジュラ紀以降に近づいた。
p.61	問題 64(3)	(問題文を変更します。)	(3) 北米の岩石によるデボン紀とジュラ紀の北磁極の位置を比較してわかることとして適当なものを次のア～エから1つ選べ。 ア デボン紀からジュラ紀にかけて、北米大陸は北磁極に対し相対的に南に移動した。 イ デボン紀からジュラ紀にかけて、北米大陸は北磁極に対し相対的に北に移動した。 ウ この資料からは北米大陸と北磁極の位置関係の変化についてはわからない。 エ 北米大陸と北磁極の位置関係はデボン紀からジュラ紀にかけて変化していない。
p.96	③中生代	2億5100万年前～6500万年前	2億5100万年前～6600万年前
p.96	④新生代	6500万年前～現在	6600万年前～現在
p.96	④新生代	第三紀(古第三紀と新第三紀)・第四紀に区分される。	古第三紀・新第三紀・第四紀に区分される。
p.98	④新生代 (A)	(A) 第三紀は、前半の温暖な古第三紀と後半の寒冷な新第三紀に区分される。	(A) 古第三紀・新第三紀は、前半の古第三紀は温暖で後半の新第三紀は寒冷であった。
p.99	②	白亜紀～第三紀の境界の	白亜紀～古第三紀の境界の
p.99	② (B)	白亜紀～第三紀の大量絶滅では	白亜紀～古第三紀の大量絶滅では
p.99	表 地質時代の生物の変遷と地殻変動	第三紀	古第三紀・新第三紀
p.106	問題 102 問 2 ウ	3地域とも新生代第三紀である。	3地域とも新生代である。
p.106	問題 102 問 2 エ	新生代第三紀の地層が	新生代の地層が
p.106	問題 102 問 2 カ	新生代第三紀の海進は、	新生代の海進は、
p.108	問題 105(2)	f 第三紀	f 古第三紀
p.110	② 図 日本列島主部の地質構造区分 左上	白亜紀～第三紀の付加体	白亜紀～新第三紀の付加体
p.117	問題 107 問題文 1行目	第三紀前半以前の地層	新第三紀以前の地層
p.117	問題 107 問題文 7行目	第三紀以前の地層と	新第三紀以前の地層と
p.117	問題 107 問題文 4行目	(う)白亜紀～第三紀前半	(う)白亜紀～新第三紀
p.117	問題 107(5)	古生代から第三紀前半にかけて	古生代から新第三紀にかけて
p.118	問題 109(2)	第四紀の間に急速に	最近160万年の間に急速に
p.118	問題 109(2)	その第四紀における	この間における
p.120	問題 111 問題文 14行目	地点 B では第三紀中新世を示す	地点 B では新第三紀中新世を示す
p.120	問題 111 問題文 19行目	第三紀漸新世を示す	古第三紀漸新世を示す

ページ	箇所	誤	正
<解答編>			
p.13	問題 64	(2) ア (3) イ	(2) イ (3) ア
p.14	問題 64(2) 解説	(解説文を変更します。)	オルドビス紀からジュラ紀にかけての移動経路が東西にずらすとほぼ完全に重なることから、ジュラ紀までは北米とヨーロッパは北磁極に対して同じように位置を変えていた、つまり一体となって移動していたということがわかる。東西に分裂していったのはそれより後のことである。
p.14	問題 64(3) 解説	(解説文を追加します。)	オルドビス紀の残留磁気を示す北磁極の位置は、当時は現在の北磁極の位置に近かったと考えられる。(磁極の位置はそれほど変化していないから) 従ってオルドビス紀の北米大陸は現在より北磁極に近いもっと北にあったと考えられている。
p.20	問題 89(5)	新生代第三紀(古第三紀)の海面下に没し、カヘイ石を算出する D 層が堆積した。(145 字)	新生代古第三紀の海面下に没し、カヘイ石を算出する D 層が堆積した。(140 字)
p.25	問題 102 解説 4 行目	～ペルム紀)と新生代第三紀の間,	～ペルム紀)と新生代の間,
p.25	問題 102 解説 7 行目	～オルドビス紀)と新生代第三紀の間,	～オルドビス紀)と新生代の間,
p.25	問題 102 解説 19 行目	新生代第三紀と判定できる。	新生代と判定できる。
p.25	問題 102 解説 22 行目	新生代第三紀と判断される。	新生代と判断される。
p.25	問題 102 解説 23 行目	第三紀の海進がはじまってから	新生代の海進がはじまってから
p.26	問題 105(3) 解説 2 行目	巻き貝で、新生代第三紀を	巻き貝で、新生代新第三紀を
p.28	問題 109(2) 解説	第四紀のはじまりはおよそ 160 万年前と覚えておこう。	(削除)
p.29	問題 111(5) 解説 3 行目	石灰岩を、新生代第三紀	石灰岩を、新生代新第三紀
p.29	問題 111(5) 解説 5 行目	第三紀層は走向が	新第三紀層は走向が
p.29	問題 111(5) 解説 10 行目	垂直の第三紀層が分布していて	垂直の新第三紀層が分布していて
p.29	問題 111(5) 解説 11 行目	第三紀層を水平な	新第三紀層を水平な
p.29	問題 111(5) 解説 12 行目	この第三紀層の地点 D で	この新第三紀層の地点 D で
p.30	問題 111(5) 解説 3 行目	第三紀層は、ヤマメ沢の	地層は、ヤマメ沢の
p.30	問題 111(5) 解説 9 行目	第三紀の礫岩層が分布する	礫岩層が分布する